

本年度の結果

	英語
阿蘇市	39
全国	45.6

領域別	聞くこと	読むこと	書くこと
阿蘇市	54.5	47.7	16.2
全国	58.4	51.2	23.4
観点別	知識・技能	思考・判断・表現	
阿蘇市	44.6	33.3	
全国	51.5	38.8	

本年度の主な結果について

○文における基本的なイントネーションや文における区切りなどの音声の特徴を踏まえて、情報を正確に聞き取ることはできている。  
 ●領域別では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に大きな課題が見られた。特に、まとまりのある文章を書くことや、自分の考えとその理由を書くこと、複数の条件に即して文章を書くことに課題が見られた。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

○ある情報に関して話し手の交換がなく話されれば、情報を正確に聞き取ることができる。(1(1))

【課題】

聞くこと

- 目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるが、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることに課題がある。(2)(3)
- 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることに課題がある。(4)

読むこと

- 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることに課題がある。(6)
- 短い文章の概要を捉えることに課題がある。(7(1)(2))

書くこと

- 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がある。(8(2))
- 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことに課題がある。(9(1)(2))
- まとまりのある文章を書くことについては、引き続き課題がある。(10)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

○「1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた」と回答した生徒は、全国より高い。

【課題】

- 「英語が好き、内容がよく分かる」は、依然として課題である。
- 「英語の勉強は大切」「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と解答した生徒が、全国と比べて少ない。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

○OPDCAサイクルによる課題探究型学習を進め、課題設定一見通し一解決する一まとめ一振り返りの学びを構築する。さらに、アウトプットを重視した授業づくりを進め、知識の構造化を図る。  
 ○言語活動と指導の繰り返しを行うことを通して、文法事項を確実に指導を行う。  
 ○話すことと書くことをつなげた統合的な言語活動を意識的に取り入れた指導を行う。  
 ○スピーチやプレゼンなど、まとまった内容を英語で発表する活動を取り入れた指導を行う。

【日常的な取組】

○聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動を取り入れる。ALTとも日常的に英会話を積極的に進める。  
 ○学習者用デジタル教科書やテラトークアプリ等を活用した学習を積極的に取り組む。

【家庭学習等】

○学習者用デジタル教科書等の活用を通して、聞くこと、話すこと、書くことに取り組む。